

# 藤次郎株式会社(燕市)



## 会社概要

- 本社所在地 新潟県燕市物流センター1丁目13番地
- 代表者名 代表取締役 藤田 進
- 事業内容 包丁の製造・販売
- 従業員数 107人

## 健康経営で目指すもの

- 全社員が健康になることで企業価値、生産性向上を目指す

## 健康経営に取り組むきっかけ

- 自身も運動不足を感じており、働き方改革の流れもある中で、「健康でなければ仕事も一生懸命できない」と考えるようになりました。また、社員の健康が一番大事と考えています。
- もともと社内の交流の場として、若手社員で構成される「改善委員会」において、社内行事や表彰等を企画・運営していました。令和元年には、「改善委員会」の中に、健康づくりの取組を企画・運営する「健康増進チーム」を立ち上げました。



藤田進 代表取締役

## 健康経営の推進体制

- 「改善委員会」のメンバーは、10人で構成されており、月1回会議を開催しています。その会議の議案の1つとして社員の健康づくりを取り上げ「健康増進チーム」が主体となり企画・運営をしています。
- 健康経営の推進は業務の一環として考えており、これらの打ち合わせは就業時間内に行い、社員が楽しんで取り組めるイベントになるように検討しています。



「改善委員会」のメンバー

## 取組のポイント ～歩数チャレンジの実施～

- まず最初の取組みとして、「カイロプラクティック教室」を開催しました。参加した社員から好評だったため定期的に行う計画をしていましたが、コロナ禍で実施ができない状況になり運動意識の低下が懸念されていました。
- そこで、「健康増進チーム」で、教室形式ではない3密を避けた運動の取組ができないかを検討し「歩数チャレンジ」を企画しました。詳細を決めるにあたり、委員会メンバーで2週間のテストを実施し、問題点を洗い出し改善し、その結果を基に社員間で2ヶ月間の歩数を競い合う「歩数チャレンジ」を実施することが出来ました。
- 「歩数チャレンジ」では歩数の多い社員を社長が表彰するなどのインセンティブを設けて実施。参加者の8割から「次回も参加したい」との意見があり、好評を博したところです。現在、2回目の実施を計画中。



左より、高田さん、若林取締役常務、甲田さん

## 健康経営による効果・メリット

- 社員の参加しやすさや楽しさを盛り込んだイベントの実施は、社員の交流の機会につながり、コミュニケーションが増加しています。



県との打ち合わせの様子